

農芸化学奨励賞の申請書の書き方について

【推薦者資格】 支部長または個人会員の方

【候補者資格】 次の 1)、2) 及び 3) を満たす個人会員

1) 本会会員で、1978年（昭和53年）4月2日以降生まれであること（満40歳以下であること）。但し、応募時までに出産に伴う産前／産後休業や育児休業を取得した者は、1回の出産につき1歳、性別を問わず年齢制限の延長を認めるものとする。また、介護休業を取得した場合は、その期間年齢制限の延長を認める。※ 平成30年度より資格追加

2) 2019年（平成31年）4月1日において、学生会員歴を含め原則として本会に3年以上継続して在籍していること（海外留学による休会または退会は考慮の対象となります）。※ 平成26年度より資格追加

3) 本学会会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」に、発表済の論文が1報以上あること（BBB online に掲載され DOI がついていること）。

【提出書類】

1) 申請書（申請書の内訳は、推薦書・業績要旨・主要論文リスト等・付属資料・略歴（計8ページ））

2) 論文ファイル： 主要論文のPDF3編

3) 日本農芸化学会における発表実績（本大会と支部会を別に題目、発表年を書いてください）

【提出期限】 2018年10月31日（水）正午

【書類作成に関する注意事項】

1) 年号は全て西暦で記入してください。

2) 書式の規定枚数を超えないようにしてください。別紙の添付は認められません。

3) 「主要論文リスト、総説、著書、学会発表」の欄には、必ず「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」掲載論文を1報以上記載し、下線を引いてください。

4) 「主要論文リスト、総説、著書、学会発表」の欄で添付書類として提出されるものの番号に○印を付してください。

5) 「発表された論文、総説、著書、学会活動等、他学会での受賞歴」欄の記載は、[原著論文]、[総説]等、項目毎にまとめ、年代順に記載してください。記載のない項目は削除してかまいません。

6) 学会活動等については本会から委嘱、あるいは依頼されたものを記載してください。

(例、産学官交流委員会幹事(さんわか第7期)、関東支部 会計幹事、2017年度大会座長 など)

【電子申請に関する注意事項】

- 1) 「本会年次大会における発表回数」は本会年次大会講演発表データベースの「一般講演、ポスター発表」からご自身のお名前を検索し、演題数を記載してください。
https://jsbba.bioweb.ne.jp/jsbba_db/index.html
- 2) 「本会年次大会における発表回数」、「うち本人が代表発表者」に関しては上記データベースのご自身の氏名の前に「○」が記されている演題数を記載してください。
- 3) 「本会年次大会でのシンポジウムにおける発表件数」上記データベースの「シンポジウム」からご自身の氏名が記されている演題数を記載してください。

《問い合わせ先》

公社) 日本農芸化学会 事務局 授賞係

E-mail : jusho@jsbba.or.jp

TEL : 03-3815-1907 FAX : 03-3815-1920